

平成 30 年 3 月 30 日

## 地域医療構想を踏まえた「公的医療機関等 2025 プラン」計画書

地域医療支援病院 府中恵仁会病院  
病院長 宇井 進

### 1. 基本情報

医療機関名：府中恵仁会病院

開設主体：理事長 布施 喜八

所在地：東京都府中市住吉町 5 丁目 2 1 番地 1

病床数（許可・稼働）：2 1 7 床

一般病床 146 床、ハイケアユニット 5 床、地域包括ケア病棟 34 床、回復期リハビリテーション病棟 32 床

診療科目：内科、外科、放射線科、整形外科、脳神経外科、神経内科、リハビリテーション科、婦人科、形成外科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、麻酔科、糖尿病内科、泌尿器科

職員数：医師 23 名 看護職員 183 名 専門職・事務職員 187 名

### 2・1) 構想区域の現状と課題

北多摩南部医療圏の最南端にある当院は、その設置場所の特性から多摩南部医療圏をはじめ 13 市から年間 5000 件近くの救急搬送に応需しており、それ故に単一の医療圏を超え患者の実受診圏に及ぶ広範な患者・家族の医療・福祉ニーズに応えるに際し、個々の地域特性に合わせた総合的なサービスとして入退院支援並びに外来診療体制を整える必要性があります。

現状として市内に高度急性期病床は比較的充実している一報で、回復期リハビリ病棟および長期利用の可能な医療型療養病床等の慢性期病床は十分とは言えず、隣接する多摩南部医療圏から多摩西部医療圏など、他市・他医療圏の社会資源を含めサービス調整を適切に提供できるような連携が欠かせない実情があります。

### 2) 自施設の現状・課題

地域包括ケアシステムの理念の基に、構想区域内での救急医療から慢性期に至るまでの医療・福祉ニーズを包括的に提供してきました。そうした中で、自施設の現状としてケア・ミックス構成での 217 床という範囲内で、機能の異なる病床をシームレスに院内で繋げ最大限に活用する運営が求められています。地域医療支援病院・二次救急病院の使命として、5 床の空床を確保しながら高い稼働を図り、かつ各機能の病棟稼働に季節変動要素も織り込みつつ最大限のケア・ミックス特性の利点を出していくことが必須となります。更なる地域医療貢献のため、平成 28 年 8 月に地域包括ケア病棟 34 床及び回復期リハビリテーション病棟 32 床を開始しました。急性期加療後の、在宅復帰に向けた加療・リハビリテーションを行う病棟です。現在は、自院の急性期病棟からの移動患者で埋まってしまうため、在宅加療中の患者及び他の急性期病院からの受入れが今後の課題だと考えています。

### 3. 今後の方針

#### 1) 自施設が地域において今後担うべき役割

救急医療を地域医療でのプラットフォームとして、当院の基本姿勢にもあるように365日、24時間地域の皆様へ、必要な時に必要な医療を提供できる体制作りをしています。超急性期・急性期から回復期の医療ニーズに応え、しかる後に福祉・介護ニーズ等の調整にも応え得る地域密着型の病院としての役割を核としながら、従来から担っている広範なエリアからの救急搬送にも応えるべく入退院支援態勢および地域連携事業の一層の充実を図るとともに、自施設に限らない他の登録医療機関を含め人生の最終段階での医療にも対応し得る連携が求められていると考えます。

#### 2) 今後持つべき病床機能

現状でのケア・ミックス病棟編成が1年半経過する中での課題について改善を行い、地域医療・福祉ニーズの分析を進め、地域医療に必要となる病床機能の充実を図っていきます。

### 4. 具体的な計画

#### 1) 当該医療機関が今後提供する医療機能に関する事項

平成29年8月に救急及び患者輸送用自動車を2台購入し、緊急性の高い他院からの紹介患者の搬送及び当院から他院・他院から当院への転院搬送に使用。当院の救急搬送用自動車導入が地域に浸透していないので、実績は多くありませんが、登録医療機関や他の急性期病院に向けた情報発信として、案内書の送付・訪問による説明を計画中。

#### 2) 診療科の見直しについて等

診療科については、現在届け出ている診療科を中心として、地域会議等での要請等があれば、適宜専門診療科としての外来設置を含め検討していきます。

#### 3) 当該医療機関が今後提供する医療機能に関する、具体的な数値目標

①病床稼働率…80% 一般病棟5名の空床を確保しておくことを目標とします。

②当該医療機関の実績に関する項目（基準値指標）

・登録医療機関数…306件

・紹介率…55%

・逆紹介率等…75%

以上